

子どもたちの選択に自信を持たせよう

道立高校の入試について、出願変更後の状況も明らかとなり、毎年の事ではあります。受験生の皆さんには緊張が高まっていることと思います。体調管理に十分気を付けて、試験に臨んでいただきたいと思ひますし、それぞれ良い結果が得られるよう祈っています。

ところで、高校というと全日制の高校の事をイメージする方が殆どだと思いますが、一口に高校といっても、全日制の外にも定時制や通信制の学校があります。

今年の定時制高校について見ますと、以前と比較すると随分と数が少なくなっているとはいえ、700名を超える学生が志願しています。

定時制高校を志望する背景としては、昔は殆どが経済的な理由、あるいは農家の子弟が農業に従事しながら学びたいというような、まさに働きながらそれでも学びたいという事情が強く働いていたと思ひます。

最近では、勿論経済的な理由もあるでしょうが、いじめを受けていたとか、他人とのコミュニケーションをとるのが苦手だからというような事情で定時制高校を選択するケースもあって、昔とは定時制高校を取り巻く状況も変わってきたと思ひます。

恐らく、定時制高校を志願した学生の中には、本音を聞けば全日制高校に行きたいと思っている子どもたちが相当存在するのではないかと思ひます。

そんな子どもたちは、親にお金があればとか、もう少し違った環境に生まれればというような屈折した思ひを抱いているでしょうし、入り口の段階から、なにがしか挫折感や不条理感を胸に抱いたまま高校生活を送ることになるでしょう。

そうした子どもたちに、自己肯定感を育てると共に、人生の目標を持たせ、その為に努力することの素晴らしさを教えていく事こそ、教育に関わる者の大きな使命であると心すべきです。(塾頭 吉田 洋一)

